



LIONS NEWS

Lions Clubs International 330-A

2017 JUNE Vol.6





ライオンズクラブ国際協会 創立100周年記念 第63回 年次大会

4月17日・22日 東京プリンスホテル



ライオンズクラブ国際協会 創立100周年記念 第63回 年次大会 第2日目 開催

330-A地区 第63回年次大会が、東京プリンスホテルで開催された。テーマは、「越」。

9時35分からの代議員会では、4月17日代議員総会第1日目の報告がなされ、その後各分科会に移動し、アクティビティや会員増強など様々なテーマについて330-A地区の現状、問題点の確認、今後についての協議及び審議が行われた。

代議員総会後半では、次期地区ガバナーL細川孝雄、次期第1副地区ガバナーL今井文彦、次期第2副地区ガバナーL伊賀保夫が紹介され、また分科会報告、決議報告、決議事項が承認された。

14時から「ライオンズクラブ国際協会創立100周年記念式典」が始まり、常陸宮同妃両殿下のご臨席のもと、篠順三大会幹事による開会宣言、海上自衛隊東京音楽隊所属の三宅由佳莉さんによる国歌独唱、そして村木秀之大会会長が式辞を述べ、大会記念アクティビティが発表された。

式典後半では、江東区立明治小学校マーチングバンドによる大会記念演奏会が開催され、その後次期地区ガバナーL細川孝雄エレクトが会場全体からの期待と激励を受け入場し、式典は結びとなった。

17時からアワード表彰が華やかに行われ、拍手と「おめでとう」の歓声で会場は熱気に包まれ、続く晩餐会では、東日本大震災・熊本震災支援ラッキーカード抽選会が企画され盛会となった。100年先を見据え、新たな山を目指す、テーマ「越」を各所で感じられた第63回年次大会だった。

第63回年次大会の様子は、HP右側の「第63回年次大会 Photo Gallery」タグをクリックするとご覧いただけます。



年次大会1日目



年次大会2日目
村木ガバナー挨拶



アワード表彰



明治小学校演奏



細川幹事団集合



分科会



INDEX

表 2	第63回 年次大会
P04	330-A Leaders Interview ガバナー編
P04	クラブアクティビティ報告
P08	330-A Leaders Interview レジェンド編
P12	330-A Leaders Interview クラブ会長編
P14	クラブアクティビティ報告・周年
P16	キャビネット関連報告・委員会セミナー等告知
P18	MD年次大会・2016-17 広報情報委員会メンバー 一言コメント
表 4	今後の主な行事予定・編集後記



アワード表彰



アワード表彰

ガバナー編

テーマ: 1年を振り返って



ライオンズクラブ国際協会の100年祭を祝う330-A地区のガバナーとして、キャビネット活動1年の振り返り(①～⑦)と次の100年への思いを語って頂きました。



① 9月から10月にかけて ガバナー公式訪問について

全クラブ会長、幹事との10分間面談を実施。16-17年期が始まってすぐにクラブがどのようなことを考えているのか、またキャビネットへの希望など双方向に話ができたことは、お互いのモチベーションアップになり意義ある時間となった。会員増強などクラブによっては味付けが違ったりアクティビティの内容を聴けたことは10月のパレード、2月のお笑いライブへつながったと思う。

② 10月29日薬物乱用防止 大パレードについて

2011年11月大石G期日比谷公会堂で330-A地区は、薬物乱用防止教室を開催し、警視庁などからパレードの提案を受けていた。実施には準備時間が無く断念。それから5年、国連にも認められている日本の「ダメ。ゼッタイ。」薬物乱用防止運動を100周年のテーマとし、より多くの方々に注目してもらいLCのブランド力を上げたいと考えた。パレードコースは、晴海通り、数寄屋橋交差点、外堀通り、丸の内仲通りと練

り歩き、マスコミの取材も多数あり情報発信効果は絶大だったと思う。オール東京が集まるにはキャビネットのリーダーシップが必要であり、クラブメンバーの沿道での応援と、入会候補者も多く集まったと聞いている。効果として、シカゴ国際大会で6月30日5分間のコメントを許可され、7月2日100周年セミナーにおいて第5会則地域より選ばれ本パレードについてプレゼンテーションすることになっている。

③ 2月23日 東日本・熊本復興支援 お笑いライブについて

「心のケア」を被災者へ届けるためのチャリティ「お笑いライブ」は、4回の公演に約2,000名が集まり、ファンドレイズも予定通り行えた。3月に熊本・南阿蘇村へ相撲教室、4月に気仙沼へお笑いライブを届けることが出来た。担当の東日本・熊本復興支援特別委員会の活躍に改めて感謝と様々な自然災害に対して「忘れない」を合言葉に今後も普通のアクティビティとして習慣化されればと思っている。330-A地区らしくライブコンサートの機会は多く、それらを観て気が付かないところでチャリティとなりファンドが出来上がるという、発展性が期待できる手法の一つと感じている。

④ 4月17日、22日 第63回年次大会

宮内庁、警視庁、皇宮警察等との交渉が実り、約10年ぶりに常陸宮様同妃殿下様にご臨席賜った年次大会だった。また、式典で10月の薬物乱用防止パレードの実績が認められ、警視総監 置田芳樹様(代理として出席持参は警視庁組織犯罪対策部部長 警視監 内藤浩文様)より感謝状を頂戴できたことは大変光栄なことで、330-A地区メンバー全員への表彰として、皆で喜びを分かち合いたいと思っている。

⑤ 各クラブCNへ出席して 特に印象に残っているのは

東京LC65周年と東京桜田門LC。前者の65周年に立ち会えただけで幸運と思い、また式典では伝統あるクラブにもかかわらず、ミャンマーとのSkype交信を行い常に情報技術を刷新しているところに感心した。後者は、田中会長が俳優ということもありLC100周年を祝う設立当時の寸劇が興味深く、皆に観てもらいたいと思った。



⑥ 各委員会セミナー (無料化の効果)について

委員会は、会場費用や動員に気を取られることなく、セミナーの充実に注力できたと思う。期首にお配りした、IDフォルダーにセミナー修了カードを入れていただければと思う。LCメンバーは、「なんでも知っているおじさん、おばさん集団」になっていくのが理想。例えば緊急時に人の命を救える可能性が広がり、相談事に正しい受け応えができるようになると考えている。積極的に受講して頂き感謝です。委員会の皆さまお疲れ様でした。

⑦ 会員増強について

東京地区は入会候補者が潜在的に多く存在する地域である。が、しかし情報も多く入り入る側が選び、納得して入会するためには活動の目的を明確にする必要がある。解決策は、例会の充実もさることながらアクティビティをやり続けることだと思う。「一緒にやりませんか」と一言いえる環境を常に作り、輝いて、選ばれる団体になることが重要。キャビネットが330-A地区全体のクラブ情報を公開していくとおのずと道は開けていくと考えている。

結びに一言

幹事 L篠 順三: 1年を通して幹事団の献身的な動きに感謝。村木G期の幹事団は、個性的なメンバーで構成されており、集中した時の行動力はさすがの一言。

村木 秀之G: パレード、お笑いライブ、年次大会、各キャビネット会議とクラブ、委員会、幹事団、事務局に支えて頂き、この1年「新たな山」を越えていくことができました。年次大会において警視総監から感謝状を頂戴したことは、330-A地区の宝で、メンバー皆さまの成果です。この勢いが来期へつながっていけばと思います。We Serve



クラブアクティビティ報告

奉仕活動の原点であるクラブアクティビティをご紹介します。
魅力あるこれらのクラブアクティビティは我々ライオンズメンバーの誇りです。

清掃作業

4R3Z東京法政LC



4/5(土)

東京法政LCのメインアクティビティのひとつとして春・秋2回行われている靖国神社の清掃作業に約20名が参加した。桜吹雪の中、炭田会長の「今は花びらもまだ景観のひとつなので」の一言で、それ以外の清掃に励み、昼食は近く中華料理でメンバーの懇親を深めた。

テーマ: 青少年健全育成
於 靖国神社



ライオンズクラブ創立100周年を祝う会

12R1Z東京三鷹LC

ライオンズクラブ国際協会が100周年を迎えた今年、L仁礼会長の提案で、一般の方々にLCの活動内容を知って頂く機会として100周年をお祝いする会を開催致しました。当日は各メンバーが1名以上のノンライオンの友人を招待し、メンバー34名とお客様43名の総勢77名の出席を頂き開催することが



4/6(木)

出来ました。
三鷹市副市長 内田治様と330-A地区G GMTコーディネーターL進藤義夫より挨拶を頂き、その後パワーポイントを使いLCの歴史や東京三鷹LCの奉仕活動について出席者に分かりやすく紹介した後、「是非皆さん、一緒に奉仕活動を行っていきましょう」と呼びかけをしました。また、創立35年目の当クラブには6名のチャーターメンバーが在籍しており、L仁礼会長より長年の功績に対し記念品を贈呈しました。
会食が始まり、サクソ・ギター・ベースによる演奏を楽しみながらメンバーと出席者が和気あいあいとしたひと時を過ごしました。その後、チャーターメンバーであるL塚本昭によ

テーマ: 100周年例会
於 吉祥寺東急REIホテル



るライオンズローアを全員で行い、出席者が一つになり「また会う日まで」を歌ってお開きとなりました。

当日はメンバーの100%出席を達成し、100周年に華を添えてお祝いすることが出来ました。これからの東京三鷹LCにとって、とても大切な例会となりました。

(レポート: 東京三鷹LC
100周年を祝う会実行委員長 L田村功)

多摩川クリーン作戦

13R1Z東京昭島LC

東京昭島LCは、多摩川河川敷(昭島市)の清掃活動「多摩川クリーン作戦」に参加しました。当活動には昭島市自治会連合会、地元リトルリーグ、その他の奉仕活動団体も協力し約130人が参加しました。河川敷約

テーマ: 地域・環境
於 多摩川河川敷

4/9(日)

2kmの区間においてペットボトルやタバコの吸い殻などのゴミを回収し、市民の憩いの場である多摩川の環境保全に努めました。
(レポート: 東京昭島LC 広報担当 L 関 飛雄一)



熊本地震復興応援募金活動

5R2Z東京江戸川南LC



4/14(金)

熊本地震から丸一年が経ったこの日、葛西駅前にて募金活動を行いました。昨年の地震発生後にもすぐ募金活動を行い、全額を熊本荒尾LCに送っており、今回も集まったお金(506,247円)を同クラブに贈り復興に役立ててもらいます。
(レポート: 東京江戸川南LC 会計 L根津 万寿夫)

テーマ: 熊本復興支援募金
於 葛西駅前



献血活動

13R1Z東京国立LC



4/14(金)

一橋大学西校舎兼松講堂前にて、東京国立LCは、赤十字奉仕団の協力を頂き「献血活動」を開催しました。天候に恵まれ大学通りの桜を觀賞しながら、大学生だけでなく、子ども連れの若いお母さんたちや、年配の方々等、45名の献血の申し込みがあり、35名の皆様に献血をして頂きました。ありがとうございました。

テーマ: 献血呼びかけ
於 一橋大学西校舎兼松講堂前



(レポート: 東京国立LC 会長 L大和 祥郎)

第6回「東京石泉LC 福祉音楽祭 in 練馬」

7R3Z東京石泉LC

当音楽祭は、石泉LC40周年記念として開催され、区内の福祉団体と作業所の皆さんによる歌・演奏・ダンス・朗読など日頃の練習の成果を発表する場として6回目を迎えた。



4/18(火)

年々参加団体が増え、今年は14団体の参加があった。会場ロビーでの自主生産品の販売会もあり売り込みの声など活気に満ち溢っていた。前川練馬区長から、「23区の中で福祉を充実しNO.1になれるよう尽力していく」と挨拶があり、福祉音楽祭が地域に根差し、多くの市民に愛され発展の可能性を感じられた。またケーブルTV J:COMの取材が入り、18日のデイリーニュースで放送され、広くライオンズクラブのPRとなっている。開催目的も明確であり今後の展開が楽しみなアクティビティである。

テーマ: 社会福祉
於 練馬文化センター



(主催: 東京石泉LC、
後援: 練馬区・練馬区社会福祉協議会)
(レポート: 広報情報委員会)

井の頭公園開園100周年記念チャリティーコンサート

テーマ：地域・環境
於 武蔵野公会堂

12R1Z東京吉祥寺LC

4/21(金)



今回はコンサート入場料という形ではなく寄付金として1,000円をいただき、集まった寄付金は、全て井の頭公園の浄化活動に活用いたします。第1部は亜細亜大学吹奏楽部による演奏で、現代の歌謡曲等もあり聴衆を魅了する演奏でした。第2部は井の頭公園の歌姫こと「あさみ ちゆき」さんのコンサート。最近ではラジオ等でもよく聞くようになってきました。観客の方々も盛り上がり大変有意義なコンサートになりました。最後は皆で記念



撮影を行い終了となりました。
(レポート：東京吉祥寺LC
PR・情報委員 L笠原 伸太郎)

献血アクティビティ in 東京舞祭「春」

6R3クラブ合同 浅草LC、蔵前LC、上野南LC 4/23(日)

上野恩賜公園の大噴水前広場にて開催された第3回東京舞祭「春」((社)日本舞祭振



興協議会主催：代表理事L梶田佳浩(東京浅草LC所属)に特別協力した東京浅草LCが同イベントとタイアップして3クラブ合同献血アクティビティを展開した。当日は晴天にも恵まれ同イベントの来場者数は10万人に上った。長年、東京浅草LCが続けてきた献血アクティビティとこの大規模イベントの初のタイアップは大盛況であった。

また、東京蔵前LCと東京上野南LCと3クラブ合同アクティビティに発展したこの献血

テーマ：献血呼びかけ
於 上野恩賜公園の大噴水前広場



活動は今後益々の発展が期待でき、アクティビティ活性化の手本となるであろう。
(レポート：広報情報委員会)

第40回武相マラソン大会 (主催：武相新聞)

12R2Z東京町田クレインLC

4/29(土)

ゴールデンウィークの麗らかな青空の下、マラソンランナー支援アクティビティを行い



ました。今回で40回目を迎え伝統が受け継がれ、参加者数約4,000人の大規模で市民に親しまれている大会です。当クラブは毎年ランナーのために給水所の設置と貴重品預かりを実施しています。緑豊かな多摩丘陵の自然の中を駆け、陸上競技場トラックでフィニッシュします。今回も沢山の市民の方たちや、お手伝いに来てくださった桜美林大学駅伝部の皆さんとの交流も含め、大変充実した

テーマ：地域スポーツ大会
於 町田市野津田競技場



アクティビティとなりました。
(レポート：東京町田クレインLC 幹事 L小林 直人)

薬物乱用防止教室

12R2Z東京町田クレインLC

5/2(木)

「ダメ。ゼッタイ。薬物乱用防止教室」を全学年622名の生徒を対象に開催しました。

当クラブから薬物乱用防止認定エキス



パート講師の中山L、瀧沢委員長、L内藤と幹事L小林の4名で奉仕活動を行いました。

昨今の著名人の薬物所持・逮捕のニュースを子ども達も知っている様子が会場が静まり返るほど中学生たちも真剣に耳を傾け、薬物乱用の怖さを十分理解できた様子でした。

教室の最後に生徒会長から薬物乱用防止教室開催のお礼の挨拶を頂きました。現在も変わらない子ども達の純粋さに心が温まり、LCメンバーとしてやりがいを感じました。

テーマ：青少年健全育成
於 町田市立南成瀬中学校



来月も町田市立小山田小学校で教室開催を予定しており、引き続き薬物に手を出してしまう若者がいなくなるよう、子ども達の明るい未来を見守っていかねばならないと改めて実感した薬物乱用防止教室でした。

薬物乱用防止教室

13R1Z東京国立LC

5/12(金)・13(土)



国立市内の子どもたちへ薬物乱用防止教室を行いました。5月12日(金)、市立第二、13日(土)市立第六の両小学校で110名が参加。子どもたちは、真剣な眼差しで薬物乱用の恐ろしさや薬物には関わってはいけない「ダメ。ゼッタイ。」を習得したと思っています。これからも、薬物乱用防止教室を通じて、国立市内へのライオンクラブの認知度向上に向け頑張って活動して行きます。

テーマ：地域・青少年健全育成
於 市立第二小学校・市立第六小学校



(レポート：東京国立LC 会長 L大和 祥郎)

献血奉仕活動

11R1Z東京新宿LC

5/16(火)



当クラブは、毎月第1火曜日理事会、例会前に献血呼びかけを行なっています。今回は吉田会長、伊藤幹事をはじめ8名が参加、あわただしく道行く人々へメガホン越しに大声で「血液を必要している患者さんが大勢います。献血をよろしくお願ひします」「献血にご協力お願ひします」などと呼びかけました。呼びかけを始めて15分後、1人の若い男性が献血に応じてくれたのを機に7~8人が訪れま

テーマ：献血呼びかけ
於 新宿駅西口「日本赤十字社献血センター」前



した。献血奉仕後、参加者一同晴れ晴れとした気持ちで例会に参加しました。
(レポート：東京新宿LC 幹事 L伊藤 春雄)

クラブアクティビティの記事に於いてメンバーなどの呼称は、投稿の記実文を優先します。よって統一されていない箇所がありますが、ご理解お願い致します。4月5日~5月28日開催のアクティビティを掲載しています。

クラブアクティビティ・委員会報告、告知の投稿方法 6つのステップ

- ① ホームページのトップページの右上「投稿」をクリック
 - ② 名前⇒メールアドレス⇒R、Z⇒クラブ名⇒役職⇒区分(アクティビティ、委員会など)書き込み
 - ③ アクティビティのタイトル⇒実施日⇒本文(報告、告知文)300字程度
 - ④ 写真添付 6枚まで。1枚当たり1MBの大きさにして下さい。6枚で6MBまで
 - ⑤ ファイル(ポスターなど)PDF添付できます。告知時に便利。
 - ⑥ 画像認証をして⇒配信ボタン
- 投稿お待ちしております。 広報情報委員会一同

330-A地区ホームページから行うことができます。

レジェンド編

テーマ:LCの創世記を振り返り、志、誇り、そして未来へ



ライオンズクラブ国際協会は設立100年を迎え、モットーであるWe Serve(我々は奉仕する)のもと多くのメンバーが地域社会に一筋の希望の光を放ち、運動を続けてきた。これまでの伝統を継承し、次の100年に向け「未来のライオンズクラブ像」を探るため、重鎮にお出まし頂き、「330-A地区発展の歴史」と「奉仕活動の志と誇り」を伺うことにした。

出席者の紹介

① L菅原 雅雄

(入会1961年)96-97年ガバナー、79-80年 東京堀留LC会長 2R1Z 1963.4.CN:歌舞伎座でグリーン第2国際副会長出席のもとCNを開催メンバー120名。1969年東京で初の国際大会時、エレクトションコミュニティとして活躍。YCE留学生の受け入れも多数。現在FB(フェイスブック)で30年前のYCE生とも交流中。

② L中野了

(入会1961年)01-02年ガバナー、79-80年 東京渋谷LC会長 10R1Z 1957.6.CN:スポンサーは故小川清二L、1970年上田常隆G期の副幹事(当時2名)を務めた。地区分割という構造改革からメンバーの意識改革を目指した。モンゴルの病院へ機材の寄贈は、国際的な寄付の基本的な手法を提示し、様々な分野のリーダーとして活躍中。

③ コメンテーター:L木島 庄市

(1966年入会・東京江東南LC) 89-90年 東京城東LC会長 4R2Z 1971.2.CN:キャビネット役員要職を数多く務め、今期は選挙管理委員長。チャリティボウリングなどで若いクラブへアクティビティのknow howを伝承中。

④ ファシリテーター:L赤尾 嘉晃

(2003年入会)13-14年 東京豊新LC会長 8R1Z 1980.6.CN:2016-17年広報情報委員会 委員長



L菅原 雅雄(東京堀留LC)

① 330-A地区発展の歴史について

L菅原:戦後7年目1952年東京クラブが誕生した頃から70年代にかけて、行政に資金が無く公共施設への寄付(ライオンズロゴの入った時計台・ベンチ・学校の運動具)は、社会ニーズと合致、市民に対してのLC活動のPR効果は絶大だった。

特に情報発信力で、1965年盛岡LCから発信されたスズラン給食運動は、東京23クラブ、横浜3クラブがスズランの花を購入協力して辺地の給食資金となり、そのことを毎日新聞、TBSが取り上げ、時の首相佐藤栄作氏の耳にも届き、パンと牛乳が翌年から予算化され政府を動かす大きな運動となった。その当時のメンバーの語り草となっている。

L中野:1970年上田G期「原点に帰ろう」とテーマを掲げ「このままでは将来この団体はなくなる」と危機感を持ってメンバーへ構造改革の議論をするきっかけを作ったことは今考えると先見性があったと思う。

後に活性化のため、1988年ころ小川第2国際副会長、中尾Gとともに世界的な準地区の人数(世界平均1,900名)に合わせた地区分割(日本は4,400名)を提案して議論を盛んにしたことは、メンバーの意識改革へ一石を投じたことになったと感じている。クラブの合併や地域の分割という現在も問題となっていることを30年前から既に議論していた。

L菅原:国際大会招致が容易ではない時代、1964年第3回東洋東南アジア大会が初めて日本・京都で開催(1回目マニラ、2回目台北)した時は嬉しく思った。また1969年国際大会が東京九段の武道館で開催され、昼の部(海外メンバー向け)に昭和天皇陛下、夕刻の部(国内メンバー向け)に皇太子殿下にご臨席を賜った。今待ち合わせなどで目印になっている武道館前にある時計塔はLCがドネーションしたものだ。

② 奉仕運動を展開するための「志」と「誇り」について

L中野:30歳で入会した。良い意味で大人にしてもらった団体。LCに感謝の気持ちがいっぱい思返しをしたいと考えいつも行動している。それがわたしの「志」と思う。今は、語り部となり、会則の番人としてLCの未来を支えたいと思っている。



L中野了(東京渋谷LC)

L菅原:どんな時代もLCを次の頂きに導く、リーダーの存在が重要だと思う。特にキャビネット役員構成員は、LCの歴史や会則を勉強するべきです。知識とともに行動力の優れたリーダーは、クラブメンバーも「志」を感じ一緒にアクティビティ等に取り組みたいと「こころ」を動かされるものです。

L中野:寄付の金額や参加人数を競い合う時代は終わったと感じている。質が問われていることに気付いてもらいたい。LCの「目指すところ」「志」をメンバー皆で再度見つめなおす機会があれば良いと考えている。

330-A広報誌に掲載されている各クラブのアクティビティは本当に素晴らしい。地域密着のアクティビティを長年繰り広げられていることを「誇り」に思う。クラブ間で情報を共有し、ブラッシュアップしてもらいたい。

L菅原:あるガバナーは、第2副地区Gから多くのスタッフに支えられ3年間の職務を全うできた経験からやはり「恩返し」の気持ちが大きく、支援してくれた仲間を「誇り」に思い、今も積極的に地区への奉仕を行っている。

L木島:ライオンズのバッジを付けたなら「誇り」をもって行動して欲しい。奉仕をやっていると自慢するなら、黙って行動して評価はついてくるという「誇り」をもって活動してもらいたい。



コメンテーターL木島から

クラブ運営について3つのポイント

- ① 予算建てについて、覚えておかなければならないこと、
年間：個人18,864円
(国際会費・複合地区費・A地区費・ライオン誌代)
：クラブ24,000円(人数に関係しない)
注)国際会費は、\$為替レートで変動いたします。

- ② 月次報告(マンスリーレポート)について、
クラブのメンバー増減、アクティビティなどを国際本部・
地区へ月末に報告が必要です。

- ③ 雰囲気作りについて
テールツイスターで例会が変わるといっても過言では
ありません。
盛り上がる旬な題材や新人メンバーのスピーチと古参
メンバーのスピーチを同時に行うなどアイデアを出し合い、
LCメンバーならではの「ちょっといい話」を話せて、聴ける
工夫をすると例会出席者も増加傾向になります。



レジェンド インタビューを終えて

日本経済の発展とともにライオンズクラブは飛躍
また変化してきたことが良く分かりました。1952年、東
京LCが産声を上げました。奉仕へ「志」あるメンバ
ーが続々と集まり、L字のバッジのもと「誇り高く」地
域社会へ、特に行政の手の届かないところに「希望の
光」をあて、市民からの信頼、存在感は絶大でした。

モノからコトへ国民の消費が変化してきたように、
レジェンドの皆さまは、奉仕の対象や入会動機の変
化をよく理解されていました。アクティビティや例会の
充実の必要性を説き、未来を見据えて奉仕するメン
バーの人的成長を一番に考えて、今もリーダーシップ
を發揮されています。LCが生まれ成長、そして未来の
話しを聴けた貴重なインタビューでした。

③ 次の100年に向けて アドバイスをお願いします

❖ 例会のあり方について

時代が変化しているように例会運営も工夫が必要。希望
を持って入会した新人をガッカリさせないよう飲み食いだけ、
マンネリ化した例会から奉仕を中心とした情報交換・発信へ
の変化が必要。日本最古の東京LC65周年で見た若手の活
躍(通信、パソコンなどを駆使した式典)、登用には次の時代
の例会を体験したように思えた。

地域社会に役立つための行動ができるようライオンズメン
バーとしての「志」を伝承していくことが大切。また、テールツ
イスターの時間等で発言の機会を数多く設けることで参加
意識が高まり、その人となりがわかり、メンバー間の異業種
の交流も深まると思う。

皆が楽しいと思う瞬間にはパワーが生まれる。少人数のク
ラブは合同例会を開催して交流を盛んにすると新しい発想、
出会いがあり変化できる可能性が高くなる。また女性会員を
迎え入れるクラブ環境の整備が必要だ。

❖ アクティビティについて

ぜひ問いかけて下さい。今のアクティビティは、慈善、寄付、
奉仕のどれですか?と。私たちライオンズクラブは、汗をか

き奉仕に参加することで、かかわったメンバーが感動し、地
域社会に役立ち、貢献していることが確認できるのです。

リーダーシップを発揮して様々な方と協力し、アクティビ
ティを作り上げていく過程で周りから頼られ、尊敬され、継続
の希望が出てくる。すなわちそれがLCのステータス、モチ
ベーションなのです。まずはクラブアクティビティに参加して
第一歩を踏み出す勇気を持つことが重要です。

❖ プロトコルについて

国際会則にない役職を上位にする場合に、様々な場面で
議論があっても良いと思う。組織を正しい方向へ導くために
原理原則を守り、役員必携等の読み込みが必要と考える。

❖ キャビネットについて

メンバー数は減少しているにもかかわらず、キャビネット
委員会数、役員構成員が増え肥大化していることに疑問を
感じている。テーマは時代とともに変化していることから委員
会の整理・統合を今行うべき。会員増強については、地域の
クラブ主導で行うことを基本としたい。

❖ PRについて

新聞社やマスコミ各社へのアプローチを途切れることなく
継続し、クラブの活躍、キャビネット行事などを掲載するよう
働きかけていくことが大切。地道な広報活動がステータスを
上げていくことにつながっていく。



5月15日 月曜日 15時30分～16時45分 330-A事務局にて

出席者紹介

元ガバナー：L菅原 雅雄 堀留LC

元ガバナー：L中野 了 渋谷LC

コメンテーター：L木島 庄市 城東LC

ファシリテーター：広報情報委員会 委員長 L赤尾 嘉晃

撮影：広報情報委員会 副委員長 L吉岡 晋、L桂 太郎

総務：広報情報委員会 副委員長 L後藤 裕文、L津守 勝男

クラブ会長編

テーマ:出身校・趣味・業種等で結成したクラブについて



昨年9月7日にボブ・コーリユ国際会長が330～337複合地区公式訪問時、質疑応答で「日本に最も期待していることは会員増強」と回答し、クラブが存在しない地域での設立のヒントとして、趣味やスポーツそして歯医者など業種で募る方法を披露していた。330-A地区には、大学、スポーツ、緊急援助など共通のテーマで活動しているクラブが存在しており、今回、5大学LCとレスキューLCの奉仕活動や会員増強についてインタビューを行い、共通テーマクラブの現状と未来を探ってみた。

地域クラブとの相違点、奉仕先について

大学5LCは、母校と在学生への奉仕が中心であり、基本的に母校の発展を目的にクラブが運営されている。以下具体的な奉仕をクラブ別に掲載した。

櫻門LC: 学内での献血活動と学内のボーイスカウトに対する支援を中心としている。

セントポールLC: 留学生への奨学金支援(年2名)、留学生による日本語スピーチコンテスト開催、日本文化に触れ合うパスハイク実施の三本柱と学内での学生への献血呼びかけ活動を行っている。

駿河台LC: 留学生への奨学金支援、留学生のためのクリスマスパーティの支援、大学敷地内での献血活動。そして大学の枠組みを超えた社会貢献も視野に入れ活動している。

白門LC: 学術、スポーツ、付属高校への支援が中心。具体的には、学術優秀な学生、留学生、大学院生を選出して奨励金を支給。スポーツ(陸上・硬式野球・水泳)各部に奨励金支援を行っている。毎年、付属高校4校からの推薦で優秀な生徒各10名へギフト券贈呈を実施。

法政LC: ジュニア空手道大会(年1回)の開催。
◆主催: 東京法政LC「法政剛柔会」◆主管: NPO法人沖縄空手道剛柔流東魁塾◆後援: 一般社団法人 法政大学校友会◆会場: 多摩キャンパス総合体育館。◆目的: 青少年健全育成・伝統文化の継承・真の国際人育成。また、大学近隣の靖国神社清掃奉仕(年2回春秋)実施。

レスキューLC: 全国各地で起こる様々な災害に対する奉仕活動を行っている。具体的には、災害発生時、現地直行、市町村と協力し、炊き出し、トラック等で物資配布と対応の迅速さが特徴。また、障害者スポーツ大会の手伝いもしている。地域クラブとの相違点は、活動範囲が広域的で、緊急時は全国どこでもトラックを出し、現場主義、自らが活動するところ。

◎University 献血は学生に対する献血の呼びかけが学内にて学生・近隣の方々に呼びかけを行っている、若年層の採血者減少に歯止めをかける効果は絶大である。

2 今期会長 方針・スローガン

櫻門LC: 母校との、より一層の連携。

セントポールLC: メンバーは威厳を持ち活動する。

駿河台LC: 明るく正しく夢をもって「We Serve」。

白門LC: 会員増強! 目標70名。

法政LC: 例会出席率向上! 会員増強!

レスキューLC: 災害時即応体制

◎大学LCは母校学生らに対する支援をして関係を深め会員増強に結びつけておりレスキューLCは、現場主義を貫いている印象だった。

3 5大学の絆/レスキューの絆

5大学の絆: 新年例会、旅行例会(10月頃実施)、ゴルフコンペなどで交流を深めULCF(ユニバーシティLCファンド)基金を設立し、合同で募金活動を実施。集まった浄財は、各大学均等に配分し青少年健全育成などアクティビティを行っている。

レスキューの絆: 千葉、埼玉レスキューとも交流を深めており、近々川崎支部が結成される予定。1～2年共に活動し、神奈川レスキューLC結成につなげて行きたい。全国各地にレスキューLCが発足を目標にしつつ、災害発生時には、東京、千葉、埼玉レスキューLCがいつでも力を合わせて、迅速に対応できる体制を整えたい。

4 メンバーの特徴と 会員増強の秘策について

櫻門LC: 若いメンバー獲得のためには大学との友好関係が大切。大学出身者ではなくても付属の高等出身者であればメンバーになれることを告知している。今後は、女性メンバーの入会に力を入れていきたい。

セントポールLC: 今期平成の卒業生が入会した。若い世代に大学とかかわってもらいメンバー獲得に力を入れている。女性会員入会にも力を注いでいるが校友会にレディースクラブ(会費安価)が機能していて、経済的な問題もあり入会は難しい状態。

駿河台LC: 当クラブのメンバー構成は、士業、大学教授、経営者が中心で、若手メンバーの入会は難しかったが、最近では賛助

会員制度を活用したところ若手が増え(11名増)、会自体に活気が出てくると自然と仲間が増えてプラスのスパイラル現象が起きこの現象を大切に、さらなるメンバー増強に努めていきたい。(正会員、19名→24名と5名増)

白門LC: 女性会員10名、教授、弁護士、ゴルフ関係と職種はさまざま、名古屋から新幹線で例会に参加される女性会員もいる。1回の例会のドネーション額がかなり高額なので若いメンバーには厳しい部分もある。現在71名の会員(家族・賛助含む)の例会出席率は良く、将来会員が100名を越えた場合例会場の変更の必要性がある。(現在銀座東武ホテル利用)

法政LC: 平均年齢は58歳。比較的若いメンバーが多い。でも若い方は、仕事が忙しく間がないので例会出席が難しい。メンバーは、体育会系(設立時は空手部出身中心)のつながりが多く入会していた。今期は退会者もあり純増1名となった。女性会員は2名。地域クラブのメンバーは、若い頃からの活動(JCや法人会)やつながりがあり仲間意識が強いのので連続して入会の可能性がある。今のメンバーが直接会って誘い増強している状況である。

レスキューLC: とにかくアクティビティに関わってもらうことからスタートしている。活動回数を重ねることで準会員から会員へ移行。メンバーになったら本人が楽しみ、達成感を感じてもらう。救命救急の受講、資格を獲得する事が大切。会員増強については、5年前の発足時と殆どメンバー数は変わらず、レスキューの新しいクラブまたは、支部が出来ると地理的な要因でメンバーが移ってしまう傾向にある。女性メンバーは1名。平均年齢は約50歳で20代、30代のメンバーも多い。マンパワーがないと災害現場へ急行し活動できない。

5 インタビューの感想

5大学LC、レスキューLCの方々の話を伺い、奉仕活動の違いを改めて知る事ができた。特にレスキューLCは地域の枠を越え、全国災害地の市民生活に目を向けて活動している事に感銘を受けた。また、5大学LCの会員増強は若い世代への意識が高く(平成の卒業生)、クラブの組織ビジョンを感じさせられた。6クラブの奉仕活動は、異なっているが5大学の母校中心の奉仕活動を、レスキューLCの災害支援に対する迅速な対応などを、各地域クラブ特色のある奉仕活動と共有する事により、ライオンズクラブの目的である「We Serve」の精神に基づいた、より有意義で規模の大きいアクティビティの構築を予感させるインタビューであった。 広報情報委員会 副委員長 L後藤 裕文



第19回東京国立ライオンズクラブチャリティゴルフ大会

テーマ: 青少年健全育成
於 相模湖カントリークラブ

13R1Z東京国立LC



5/17(水)

今回で19回目を数え、ブラザークラブや友好クラブの皆様のご協力のもと12組の大会となりました。参加されました皆様は日頃の練習の成果を十二分に発揮し、僅差の勝負となりました。今大会で頂きました、皆様からの浄財は青少年の育成事業や福祉事業へ活用させていただきます。



知的障がい者団体とのBBQ

13R1Z東京国立LC



5/27(土)

晴天で夏日を思わせる中、知的障がい者団体とのBBQを開催しました。当クラブメンバーは、炭火で丁寧に肉や野菜を焼き、総勢45名の障がい者の皆さんへのアクティビティを行いました。参加された、皆様に「野外で食べる焼きたては美味しい」などと大変喜ばれ楽しいアクティビティとなりました。これからも積

テーマ: 社会福祉
於 府中市郷土の森玉川河川敷



極的な社会奉仕活動を行なって参ります。
(レポート: 東京国立LC 会長 L大和 祥郎)

親子ドローン体験教室(あしなが育英会)開催

8R1Z東京豊新LCLC

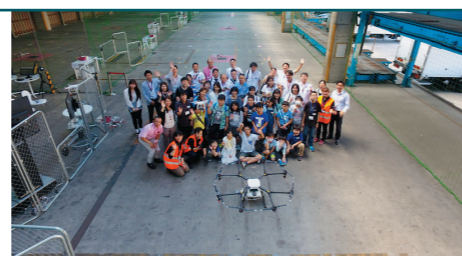
東京豊新LCは、これまであしなが育英会の大学生をYCE派遣生としてタイに派遣するアクティビティを通じて支援を行ってまいりました。今回は、一般社団法人ドローン操縦士協



5/28(日)

会様と株式会社スカイロボット様にご協力を頂き、ドローン専用飛行場にて親子ドローン体験教室を開催致しました。小中学生15名と保護者12名が参加。ドローンが飛ぶ仕組みやルールを学習したあと、ドローン操縦にチャレンジしました。子どもたちは初めて目にした大型の産業用ドローンに圧倒されつつ、シミュレータ練習で慣れたあと、実機操縦で送信機を上手に使いこなし、インストラクターや保護者の皆さんを感心させていました。

テーマ: 青少年健全育成
於 江東区潮見



次世代を担う青少年へドローンの産業活用や飛行ルールを浸透させることは、社会的意義も大きく、将来の職業の選択の幅を広げることに貢献するアクティビティになりました。
(レポート: 東京豊新LC 会長 L高木千明)

「殺処分ゼロを目指して」麻布十番いぬねこ里親会支援活動

テーマ: 動物愛護
於 麻布十番

2R3Z東京山王LC



5/28(日)

いぬねこ里親会には、殺処分されそうになった犬猫を保護している保護団体が複数集まります。合計8名のメンバーが参加し、地元商店街、各団体の協力を得て、多くの方々に保護犬、保護猫を見ていただくことができました。結果は、保護犬10頭中、5頭、保護猫17頭中、6頭の里親の申込みがあり、更に12万



円を超える募金をお預かりいたしました。この浄財は一般社団法人ロンリーペットを通して、各保護団体様へ寄付させていただきます。

50周年記念式典開催

9R2Z東京五反田LC



4/4(火)

CN50周年記念式典が開催されました。来賓の濱野品川区長、村木ガバナーから祝辞を頂いた他、品川区社会福祉協議会及びボーイスカウト品川第8団への記念アクティビティの発表、創設時からのチャーターメンバーをはじめとした5名の功労者へ感謝状が贈呈されました。祝宴も桜の開花の中、華やかな雰囲気で行われ、盛会のうちに幕を閉じました。

テーマ: 50周年記念式典
於 港区白金台八芳園



(レポート: 東京五反田LC 幹事 L佐藤博文)

CN60周年記念式典・祝宴

3R1Z東京新橋LC

17時から帝国ホテル3階富士の間にて列席者約350名の中、記念講演・式典・祝宴の順におこなわれた。記念講演として、元首相



4/10(月)

細川護熙氏夫人の細川佳代子様が「スペシャルオリンピックの魅力」について、会場、競技者、ボランティアの情景が浮かぶような内容で話され、全員が聞き入り心に刻む感動的な講演だった。式典では、会長L外山一宏氏挨拶、村木ガバナー他の来賓の祝辞、記念アクティビティの発表が行われた。特にクラブメンバー全員によるメルビン・ジョーンズ\$1000献金の実施における記念フラッグの授与は感動的なシーンだった。祝宴では330-A地

テーマ: 60周年記念式典
於 帝国ホテル3階富士の間



区以外からも多数列席され、和やかな雰囲気の中交流が行われた。330-A地区を代表する伝統あるクラブとして発展が期待されるチャーターナイトだった。

CN15周年記念式典・祝宴

7R3Z東京ウイルLC

「東京ウイルライオンズクラブCN15周年記念式典・祝宴」がザ・リッツ・カールトン東京 グランドボールルームにおいて総勢216名が出席して開催されました。



5/18(木)

式典に先立ち、ライオンズクラブメンバーでもある、歌舞伎役者 市川右團次様による「祝いの舞 寿三番叟」が披露され華を添えました。

会長L高橋英里による開会のゴングで始まった式典では、村木秀之ガバナーをはじめご来賓の方々よりのご挨拶・ご祝辞、今期メインアクティビティであるLCIFはしかイニシアチブへの献金・クラブメンバー106名全員からのLCIFへの献金に100%クラブ・パナーパッチ・シェブロンと106名分の色鮮やかなGold,Silver,Bronzeの献金会員ピンが

テーマ: 15周年記念式典
於 ザ・リッツ・カールトン東京 グランドボールルーム



贈呈されました。
祝宴では、出席したクラブメンバー正会員21名、賛助会員6名、家族会員12名の全員39名で「What a wonderful world」を合唱し、今後さらなるクラブの一致団結と奉仕活動の精進を誓いました。

キャビネット関連報告 委員会セミナー等告知

5/12(金) クラブサクセス・CEP・会員維持フォーラム

【会員維持委員会】 於 ロイヤルパーク ホテル ザ 汐留

ロイヤルパーク ホテル ザ 汐留に於いてライオンズ歴の浅いメンバーを対象にクラブサクセス・CEP・会員維持フォーラムを開催しました(委員長 L 梶 正明・参加人数80名)。3年～5年未満のメンバーの退会が多く見られるため「退会防止」が目的でした。

第1部では、ライオンズクラブ代表国連薬物担当大使で元国際理事、山浦暉暉Lを迎え、入会時から現在まで「我が人生悔いなし」と題し講演が行われた。第2部のワークショップでは自クラブのアクティビティの報告や日

頃の疑問に思っている事、今更聞けない事などを論議「本音でトーク」。当日は他クラブのメンバーとの交流もでき大変有意義なフォーラムになりました。

(レポート:クラブサクセス・CEP・会員維持委員会)



5/19(金) 第2回「いじめ防止教室」研修会

【いじめ対策青少年育成委員会】 於 AP西新宿

5月19日(金)第2回「いじめ防止教室」研修会が、いじめ対策青少年育成委員会主催、青少年健全育成委員会共催、IT委員会の協力で開催された。東京都教育庁指導部の渡辺浩一様による「都内公立学校におけるいじめ防止等の対策」についての基調講演に続き、特定非営利法人ユース・ガーディアン代表理事であるL阿部恭尚(東京綾瀬LC所属)、法務省人権擁護委員であるL松尾和英(東京五反田LC所属)の講演があり、現在のいじめの定義や地域社会との連携の重要性

などいじめの知識と予防・根絶について様々な方法が紹介された。参加者は103名にのぼり盛況で実りある研修会であった。

(レポート:広報情報委員会)



5/20(土) 「認知症サポーター養成講座&ワークショップ」報告

【女性参画・レオ・ライオネス委員会】 於 池袋 YRイベントホール

お天気にも恵まれた5月20日(土)の午後13時30-A地区では、初めての「認知症サポーター養成講座&ワークショップ」を開催いたしました。この講座は、厚生労働省から、各自治体に委任して、行っている認知症サポーター制度の一環で、認知症を理解し、認知症の人や家族を温かく見守る「応援者」の養成を目指しています。村木ガバナー、山浦ライオンズクラブ代表国連薬物担当大使、細川ガバナーエレクト、今井次期第一副地区ガバナー、阿久津元ガバナー、中野元ガバナーをはじめ、

江東中央ライオネスクラブからのご参加もあり、参加者は80名となりました。

後援事業に指定していただいた豊島区から派遣された講師の先生は、ご自身も認知症のお父様の面倒を見られ、今は介護事業の仕事をされており、まさに現場を知っての具体的なお話は、多くの方をひきつけました。当初、女性の方が関心を持ち、共感を持って活動していただけるテーマとして、この講座を開催いたしました。男性のご出席者も多く、「非常に勉強になった。」「父母が元気なうち

に、もっと前にこの話を聞きたかった。」などの感想をいただきました。

10グループに分かれてのワークショップでは、「認知症にならないようにするためには、どうするか?」のテーマを選ぶグループがほとんどで、「ストレスを発散する場を作る」「何かの活動を続ける」「気持ちを明るく保ち、笑いを絶やささない」などのキーワードから、結局ライオンズクラブとしてのアクティビティを続けることが大事ではないかという結論も出てまいりました。

5/27(土)・28(日) 第18回東京都障害者スポーツ大会

於 駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場

第18回東京都障害者スポーツ大会(第17回全国障害者スポーツ大会派遣選手権兼選考会)が、五月晴れの駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場で開催された。

種目は、個人競技(知的障害部門)、陸上競技とフライングディスク。メンバーが早朝より集まり準備をして、選手の健闘をたたえる万歳三唱を声高らかにいった。

ここ数年は、選手の保護者、コーチ、先生も一緒に万歳と笑顔でお祝いし、また表彰台から観客席へ手を振る選手をカメラに納める姿

が当たり前となった。330-A名物万歳が選手や家族などの「喜びを表現する」キッカケになったと思われる。

3年後の東京パラリンピックのメダル授与のあと、330-A地区メンバーが世界から集まった選手を「330-A名物万歳」でお祝いしたいものである。

(レポート:広報情報委員会)



5/29(月) 新三役セミナー

於 東京プリンスホテル

2017年-18年度 次期三役セミナーが東京プリンスホテル2Fプロビデンスで開催された。参加者は各クラブからの次期会長、幹事、会計387名、キャビネット役員・幹事団32名、合計419名。近年のペーパーレス化が進みPPTなどによる映像資料を活用し、次期ガバナーの方針発表や、FWT、会員増強など各分野の次期方向性が気持ちを込めてプレゼンテーションされた。ライオンズ国際協会100年祭を祝うにふさわしい布陣の330A地区が力を合わせ新たな山を登り始めた。

(レポート:広報情報委員会 L大類 雅之)



懇親会には、子ども食堂のお手伝いの後、小川FWTエリアリーダー(東日本担当)も駆けつけてくださいました。私たち、女性参画・レオ・ライオネス委員会は、総勢11名の委員会であり、FWT委員会、青年アカデミー委員会のご協力のもと、本講座を開催できたことを大変喜ばしく思っております。

この「認知症サポーター養成講座」はクラブ単位でも、地元の区市町村に依頼すれば、講座を開いていただけますので、ぜひクラブ活動にも取り込んでいただきたいと思います。

90分の講座を受けて、サポーターとして認定された証としていただけるオレンジリングの輪を広げていきたいと思います。

(レポート:委員長 L江端貴子)



5/14(日) 第63回330複合年次大会 開催

[330MD] 於 横浜ロイヤルパークホテルにて

大型連休明けの母の日、東京、神奈川、山梨、埼玉の330-A・B・C地区から代議員643名が出席登録して、第63回330複合地区年次大会が開催された。代議員総会において、総会議案が審議され投票が行われた。その後、分科会に分かれてシンポジウムが開催され、分科会に於いてシンポジウムが開催され、分科会に於いてシンポジウムが開催され、分科会に於いてシンポジウムが開催された。式典後半には、パラリンピック選手2名のクロストークがあり、

3年後に迫ったオリンピック、パラリンピックの準備の意識が高まった。各地区Gエレクト入場、アワード表彰と続き華やかに式典は閉会となった。「未来」を目指し「友愛」と「奉仕への志、誇り」そして各地区情報を共有し、切磋琢磨していくことが飛躍の可能性を広げると感じた複合年次大会であった。(レポート:広報情報委員会)

330複合HPに年次大会フォトアルバムがUPされています。
https://photos.google.com/share/AF1QipOMEdGJu10eE8Xun0jQNS4QILcl9-ZxxwBDJ47uD1yn3Jp7J7ld1U-ElZqd0J0gdQ?key=Rko4eWhVdXRvMjJTMW9Ta2xNbUs0VG1VWlpFMFhB



5/23(火) 次期ゾーンチェアパーソン研修・ワークショップ

[330MD] 於 東京駅前ビル9階ハロー会議室

330複合地区主催「次期ゾーンチェアパーソン研修・ワークショップ」が、5月23日 東京駅前ビル9階ハロー会議室に於いて行われた。この研修は 1.ゾーンチェアパーソンの役割 2.レベル間コミュニケーションの促進 3.クラブコンサルタントとしての役割 4.成功するための目標設定と行動計画の其々題目についての講習とワークショップで構成され、各テーブルごとファシリテーターを中心に意欲的な議論が交わされた。後のプレゼンテーションでは各地区ごとゾーン運営の独自性も

感じさせられた。夏日の暑い午後、5時間に及ぶこの研修を終えて参加者全員が、ライオンズクラブ国際協会標準版地区会則に基づいたゾーンチェアパーソンの職責を認識した。(レポート:広報情報委員会)



2016-17 広報情報委員会メンバー 一言コメント〈委員会の一年を振り返り〉



L赤尾 嘉晃 委員長 (豊新LC) 12年前、入会2年目のこと、所属クラブのアクティビティにおいて難病で亡くなった小学生、清水美緒ちゃんの絵本「いちばん大切なもの」を中野区、新宿区、杉並区、目黒区の小学校、図書館に寄贈しました。その当時、一つのクラ

ブから330-A地区全体や外部への情報を発信する仕組みが整備されておらず、諮問委員会での発表にとどまりました。この経験を踏まえ、クラブのアクティビティ、委員会のセミナー等、外部へ情報発信をする仕組み作りを目標に当委員会で活動してまいりました。多芸多才、そして優秀なメンバーに支えられ、また運営面ではキャビネット幹事団、IT委員会、事務局の支援もあり、目標としていた「誰でも情報発信する機会を整備」ができたと思います。今後は、より一層のデジタル化推進、メンバーへのお知らせ機能の充実とともに印刷の回数は減る傾向の小冊子を定期的に発行して、皆にやさしく分かり易い330-Aニュースに変化することを願っています。HPへ投稿いただいたクラブ、委員会そして、読者の皆様へ感謝申し上げます。



ブから330-A地区全体や外部への情報を発信する仕組みが整備されておらず、諮問委員会での発表にとどまりました。この経験を踏まえ、クラブのアクティビティ、委員会のセミナー等、外部へ情報発信をする仕組み作りを目標に当委員会で活動してまいりました。多芸多才、そして優秀なメンバーに支えられ、また運営面ではキャビネット幹事団、IT委員会、事務局の支援もあり、目標としていた「誰でも情報発信する機会を整備」ができたと思います。今後は、より一層のデジタル化推進、メンバーへのお知らせ機能の充実とともに印刷の回数は減る傾向の小冊子を定期的に発行して、皆にやさしく分かり易い330-Aニュースに変化することを願っています。HPへ投稿いただいたクラブ、委員会そして、読者の皆様へ感謝申し上げます。



L後藤 裕文 副委員長 (法政LC) 充実した楽しい楽しい1年を過ごす事が出来ました。委員会のメンバーの方々と共に素晴らしい時間を共有させて頂



L津守 勝男 副委員長 (大森LC)

花の世に 楽しき事を 掠拾う

L桂 太郎 副委員長 (世田谷LC)

赤尾委員長を筆頭に素晴らしい委員会運営で仲間に加えて頂いたことを大変光栄に思います。クラウドの活用と適材適所で効率性も格段と上がる一方で、とても居心地の良いメンバーで月一度の委員会は多くの学びがありました。個人的には終盤に関係各位にご迷惑をかけてしまい大変心苦しい思いですが、来期以降も広報委員会の伝統を残しつつ、ますます充実した委員会運営及び地区ニュースの発行を期待致します。



L荒牧 知子 委員 (東京LC) 今期は、自クラブの幹事(しかも周年)ということもあり、幽霊部員でした…が、逆に一般読者の観点から、地区ニュースを毎号楽しむことができました。赤尾委員長、そして委員の皆様、今期も有難うございました。そして本当にお疲れさまでした!



L工藤 紀子 委員 (三田LC) 今期 赤尾委員長をはじめメンバーの皆様のおかげに大変感謝しております。なかなかお手伝い出来なく申し訳ありませんでした。撮影ではお声をかけて頂き年次大会で常陸宮殿下ご夫妻 海上自衛隊の三宅由佳奈莉様の控え室を担当させて頂き光栄でした。これからは広報情報委員会は時代と共にどんどん前進していくことと思います。ありがとうございました。



L須藤 三男 委員 (芝LC) 広報情報委員会委員の1年間を振り返ってみると、赤尾委員長や皆さんにご迷惑ばかりお掛けして大変申し訳ない気持ちで一杯です。正直言って委員会の皆さんのスキルレベルが高く、場違いな委員会に配属された感がありました。また、当初委員会の目指している目標を理解するのに時間が掛り、あつという間の1年間だったと思います。これからは、教えて頂いた経験を生かして自分のクラブの情報発信等のスキルアップに活用させて頂くつもりです。広報情報委員会の皆様、本当にありがとうございました。



L田下 一雄 委員 (隅田川LC) 迷惑をおかけしました。各分野の先輩の活躍を拝見し人生卒業できない事を経験しました。ライオンズクラブの裏方の委員会であることを確認させていただきました。無理をしない、尊重。



L大類 雅之 委員 (江戸川中央LC) 一年間大変お世話になりました。初めて所属する委員会が赤尾委員長率いる広報情報委員会に良かったです。委員長、副委員長のまとまりがあって仕事のしやすい環境でした。あまり出席率の良くない出来の悪い委員でしたが、楽しく過ごさせて頂きました。また、カメラの扱いや文章の書き方なども大変勉強になり、今後別の場面で生かしていけたらと思っています。全く関係ありませんが浅草の撮影会後にごちそうになったとんかつが、とてもおいしかった記憶があります(笑)来期は別の場所に移ってしまいましたが、今後あわよくばまた今期のメンバーで広報情報委員会で働けたらいいななんて勝手に想像しています。今後様々な場面で皆さんとお会いすると思いますが今後どうぞよろしくお願い致します。一年間ありがとうございました!



L遠藤 真太郎 委員 (江戸川中央LC) 初めての委員会で戸惑いながらのスタート、徐々に慣れて楽しくなってきたところで気付けば最後の委員会……。文章の書き方、写真の撮り方など技術的に勉強になったことはもちろん、何より勉強になったのは紙面への想い・情熱。赤尾委員長はじめ素晴らしいメンバーの中、委員会活動ができたこと、本当に楽しく、貴重な経験をさせて頂きました。次期は委員会を離れますが、また別の機会に皆さんと活動を共にできることを楽しみにしています。



L矢追 秀紀 委員 (ウエストLC) 今期はライオンズクラブ創立100周年記念行事として薬物乱用防止大パレードが行われました。この記念すべき大パレードに写真撮影部隊として参加出来たことがとても印象に残っています。パレードが延々と続き、とても疲れましたが、

思い出に残る素晴らしい写真が取れたことは満足できるものでした。また、LIONS NEWSのデジタル化(電子版)も少しずつ認知され、閲覧数が伸びてきていることは嬉しい限りです。



L飯田 容子 委員 (表参道LC) 1年間、貴重な経験をさせて頂き有難うございました。初めて広報情報委員会に所属し、地区ニュースが出来るまでの委員会の担う役割の大きさ、それを成し遂げる皆様の技術と尽力に心から感動しました。赤尾委員長を筆頭に皆様が優しく、委員会での話し合いも、現場での撮影も、たくさん学ばせて頂き本当に楽しく有意義でした。委員会の一員として過ごさせて頂いたことに感謝しています。お気に入りの写真は、100周年銀座大パレードで躍らせて頂いた時、皆様が撮影して下さいました1枚です。委員長、皆様、1年間、本当に、ありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願い致します。



L大和 祥郎 委員 (国立LC) 赤尾委員長のもと、広報情報委員会として活動させて頂き感謝申し上げます。また、ライオンズクラブ100周年という記念すべき一年の中で、広報情報委員会として、取材や伝統あるクラブや若いクラブですが、勢いのあるクラブとの対談では貴重なお話を聞くことが出来、大変意義ある委員会活動の一年となりました。広報は活字と写真で伝え大事な仕事と改めて感じさせて頂きました。委員会では自由闊達な意見交換もあり委員長、副委員長の素晴らしい委員会運営はクラブ運営においても大変参考となり感謝です。赤尾委員長はじめ委員会メンバーに心より感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。



L向井 忠義 SPA (三鷹LC) 「ライオンズの発展の一翼を…」 「一人は、みんなのために、みんなは一人のために」。スポーツ界でチームワークの大切さを伝える時に使われます。ライオンズの「We Serve」と同意語とも考えます。一部の人がだけが負担を担うのではなく、全員でひとつのことに取り組み、相互の友情や信頼、尊敬の念が生まれ、達成感を共有出来ます。この姿勢がライオンズクラブの100周年につながり、その姿を広報するのが当委員会の使命と考えます。ありがとうございました。



L矢田部 満 SPA (調布LC) 赤尾委員長の二期目でLIONS NEWSの充実度がさらに素晴らしいものになった感じがします。委員会の皆様に敬意を表します。



Lあらい だいすけ オブザーバー(新宿LC) 今期もお世話になりました。赤尾委員長の元、前期から参加させて頂き数々の知識、経験、楽しみを味わい勉強することができました。私はオブザーバーとしての参加でしたが撮ったものを数多く使って頂いたことに撮り甲斐を感じておりました。このような場を与えて頂いた委員長、皆様、見守ってくれている押元さんに大変感謝しております。この写真は私にとって最高の一枚になりました。



L鹿野 祥誠 担当副幹事 (数寄屋橋LC) 委員会の皆様、一年間お疲れ様でした。皆様のスペシャルな仕事ぶりを拝見し、大変勉強になりました。ありがとうございました。

Special Thanks • L窪田 直隆 委員(三鷹LC) • L里井 純二 委員(西東京LC)

東京駅 1914年開業

今年発行した330-A ニュース表紙写真1-5号を上段に並べました。ライオンズクラブ100周年をお祝いするために100年をキーワードに都内で人々に親しまれている施設や知る人ぞ知るその存在などを取り上げました。(参照各号表紙説明文)

今回メインは、東京駅(1914年開業)。1日約43万人の乗降客数は、JR東日本で新宿、池袋に次ぐ3番目。人気の観光スポットでもあり、人々が様々な想いを持って集まり旅立って行きます。

我々ライオンズクラブは、駅のように人々と各地域の新鮮な情報が集り、それらに100年の伝統、We Serveの志と誇りを吹き入れ、各方面へ発信している奉仕の団体です。そんな情景を開業100年越える東京駅に写し見ました。

常に大所高所から判断し、次の100年を330-A地区がより良い方向へ導き、多くの市民に慕われ続けることを願って今期のニュース最終号の表紙と致しました。

(L赤尾 嘉晃)



今後の主な行事予定

2017 6.30~7.4. 第100回国際大会(国際協会創設100周年記念大会): CHICAGO, IL, USA
7.24. 第1回キャビネット会議

編集後記

本来なら編集後記は委員長の内分だと思いき、特に今期最終号の編集後記はそう思います。しかし何か意図があってと思いましたが、無礼を承知で図々しくも筆を取らせていただきました。

広報情報委員会に参加させて頂き2年が過ぎようとしています。この2年間で地区ニュースはポケットサイズからA4サイズに変わり、各クラブよりの投稿も増え紙面の構成も変化しました。今期は規模の大きなアクティビティもあり皆様の、取材へのご協力に対して改めてお礼申し上げます。

私の思いは、地区ニュースの目的である「より多くのクラブと、メンバーの奉仕活動を伝える」と、併せて端正な紙面を作ることでした。目指すイメージが曖昧なままスタートして、メンバーの皆様に進言をいただき、共に作り上げた地区ニュースも最終号を迎えます。

20代の頃、広告写真を生業にしていた私が常に寄り添っていたことは「写真とは、撮影者にとって現実の代わりになるのではなく、現実へ至るために必要な杖」でした。そしてカメラは自分自身の目より客観的と信じていました。ライオンズクラブの内側から奉仕活動に関わり、その初めから終わりまでを広報として表現することは受け手側の特定にも迷いが生まれ、どの端正を目指すのか、焦点も合いませんでした。でも、今は全員の力でここまで来たんだと、程よい達成感も感じています。

前期の終わりに、遠くへ行ってしまった副委員長いかがですか、繋ぐ事ができたでしょうか。思い出の桜は今年も綺麗に咲き、5号の裏表紙に使わせていただきました。また全員で同じ目標に向かって集う事が出来れば良いと思います、そう思いませんか。だから「また会う日まで」ですよ。L押元正樹 副委員長様。

最後になりますが、私情を挟みすぎた編集後記になってしまい申し訳ありません、お詫び申し上げます。そして多大なご支援をいただきました、村木ガバナールはじめキャビネット役員の皆様、全てのクラブメンバーと広報情報委員会の皆様、心から感謝致します。ありがとうございました。

広報情報委員会 副委員長 L吉岡 晋

クラブアクティビティ・委員会セミナーの予告、報告は、330-A地区HP右上の投稿欄からお願いいたします。330-A NEWSデジタル版は、過去の地区ニュース5年分が掲載されていて他クラブのアクティビティやキャビネット活動の変化を見ることが出来ます。

◆HPは、「330Aで検索」 ◆電子版 QRコード

